

## 事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和 8年 3月 18日

令和 8年 3月 18日

事業所名 サポートセンター きらら

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			児童が過ごしやすい環境を整え、個別対応や年齢に応じたスペースの使用を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	5			法令で必要とされる配置基準を満たして運営しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1			必要に応じて、スロープの設置を検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			サービス担当者会議や全体会議等で振り返りを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			毎年アンケート調査を行っている。	今回のアンケートを基に職員間で話し合い、計画に繋がっていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			ホームページ公開中です。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1			必要に応じて実施していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			研修会の案内を周知し、希望の研修会に参加しています。	社内研修、外部研修の機会を確保し、資質の向上を目指していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			子供と保護者の希望を確認後、計画の原案をサービス担当者会議により検討し、適切な計画を作成しています。	保護者様との定期面談に加え、状況によっては関連機関を含めたケース会議を実施していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			事業所で作成したアセスメントシートを活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			毎月1回会議にて協議しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			月間スケジュールを基に、学習(宿題等)や創作活動、外出体験等を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			子どもの発達段階に合わせた計画書を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎日実施している。当日打ち合わせができない場合は前日に実施しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			支援終了後、支援全体及び個別で共有を行い、次回の支援に繋がるように話し合いを実施しています。	今後も職員間の情報共有の徹底のため話し合いの場を持ち、より良い支援に繋がっていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			日々の支援内容、様子等を個別記録票に記録し改善しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			毎月サービス担当者会議までにモニタリングを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5			基本活動を組み合わせ、日々の支援を行っています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			サービス担当者会議には、必ず児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			引継ぎ時に情報共有しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1		該当者なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			都度必要に応じて、情報共有と相互理解をしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			移行支援会議を開催し保護者の承諾を得て情報を提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			必要な研修は積極的に参加しています。	積極的に連携を図り、より充実した支援ができるように取り組んでいます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		買い物学習や図書館利用等の機会を設けています。	地域の他の子どもたちと活動する機会が持てていないのが現状です。今後の検討課題とします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		定期的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			職員間での引継ぎや連絡帳、電話など様々な場面での情報共有、および共通理解ができるように努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5		必要に応じて支援の検討を行っています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時に担当者が説明を行っています。	どの職員でも対応できるようにしていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		ご相談があった場合は、相談内容を協議し児童発達支援管理責任者や指導員に周知し、対応をしています。	保護者と送迎時に意見交換しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5			必要に応じて実施していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			重要事項説明書に記載し、保護者にも説明を行っています。事業所内にも掲示しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			次月の行事予定を配布し、参加の可否及び費用等を確認している。	
	35	個人情報に十分注意している	5			職員は、研修及び誓約書等を徴求し意識付けを徹底している。個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			保護者面談や送迎時に日々の状況をお伝えしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		地域のボランティアの方にイベントのお手伝い(楽器演奏、手品等)をお願いすることはありますが、招待する行事はありません。	十分に実施できていないときがあります。今後の課題として対応していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			各マニュアルを制定し職員がいつでも閲覧できるようにしてあります。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			定期的に避難所までの路面状態を確認しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			年2回研修を行い、全職員に周知し、適切な行動を心がけています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			事例がない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			保護者からの指示を頂き、注意事項を書いて厨房職員へ周知しています。	現在は該当者がいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			事例については支援後の振り返り時に共有、記録を作成し改善に繋げています。	